くまり通信

第15号 令和4年11月28日

名古屋市立熊の前小学校

名古屋市緑区亀が洞一丁目 901 番地

 $\begin{tabular}{ll} $\operatorname{Tel}:052-878-1600$ \\ $\operatorname{http.}//\text{www. kumanomae-e. nagoya-c. ed. jp} \end{tabular}$



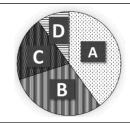
各記事と「学校教育目標」(第1号参照)の関連を、次のように文末に示しています (1) 基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力を備えた子の育成→【①**自ら学ぶ力**】 (2) 思いやりの心・社会の一員としての自覚を備えた子の育成→【②思いやり・社会性】(3) 生涯にわたって健康に過ごすための心身を備えた子の育成→【③心身の健康】

学芸会保護者アンケート結果

学芸会保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。皆さんからお寄せいただいた声をまとめましたので、お知らせいたします。

【グラフの見方】

アンケート結果を示しています(単位は%、小数点以下は四捨五入)。 円グラフの上部から右回りに、A、B、C、Dの順に並んでいます。 なお、くいただいたご意見 >の〇は成果と捉えられるもの、 白抜き数字は今後の検討課題です。 検討課題については、 裏面で補足説明や今後の対応についてまとめてあります。



【問1】お子さんは、達成感や満足感を味わい、楽しく活動に取り組んでいた。

A:そう思う	85%	B:どちらかと言えばそう思う	14%
C:あまり思わない	1 %	D:思わない	0 %

<いただいたご意見>

- 子どもが、いきいきと練習にのぞみ、本番を待ち望んでいました。緊張したけれど成功して満足していました。
- 「最後だからせりふの多い役に立候補してみた。」と、本人も意欲的に取り 組んでいました。
- 学芸会で使う道具を自宅で懸命に作り、台本 | 冊まるごと覚えて聞かせてくれ、子どもが本当に学芸会を待ち望んでいるのだなと深く感じました。

【問2】学芸会を実施したことは適切であった。

A:そう思う	92%	B:どちらかと言えばそう思う	7 %
C: どちらかと言えば作品展がよかった	1 %	D:毎年作品展がよい	0 %

<いただいたご意見>

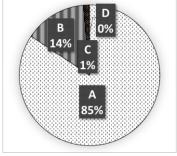
- 学芸会を中止する学校が多い中、開催していただき子どもたちも楽しめた し親も子どもの成長を感じられ本当に良かったと思います。準備や練習時間 確保と色々大変ですが次もぜひ開催してほしいです。
- 学芸会が廃止される流れの中、開催していただけたことはとてもありがた く思います。時代で変化も大事ですが変わらず続けていくことも大切なのではとも思います。
- 学芸会を見せてくださって、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもから、練習の様子や衣装の準備など たくさん聞きました。作品展は個々の作品を見られますが、学芸会はやはりひとつの作品をクラスみんな でつくるもの。これをやり遂げたときの子どもたちの達成感は一生ものの宝物になります。
- 半ば諦めかけていた学芸会が、台本を手にし、本当に開催できると実感したとき、娘と喜び合いました。 人前で何かをすることが苦手な娘も、小学生最後の年にクラスの仲間と一つの作品を作り上げることに喜 びを感じていました。

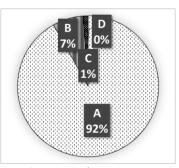
【問3】感染症対策は適切であった。

A:そう思う	82%	B:どちらかと言えばそう思う	16%
C:あまり思わない	2 %	D:思わない	0 %

<いただいたご意見>

- クラスごとでの発表で座席も決まっていたため、混雑がなくてよかったです。 全てがスムーズに計算されていたと思います。
- 学級ごとの発表は初めてでしたが、学級閉鎖が出る心配など考えると今回は 正解だったと思います。
- 子どもたちがマスク着用をしている上、保護者席が遠く、子どもの顔が見えづらい、声が聞こえづらいこともありましたが、感染対策のことを考えると適切な対応だと思いました。





- マスク着用での開催だったため、声がどうしても後ろまで届かない子もいました。マイクの数を増やしていただけたらと思います。
- ② 演じている間はマスクを外してほしかったです。表情が分からないのは残念でした。
- ④ 保護者席の椅子の並びが密接だと感じたので、間隔を空けて設置していただきたかった。

【問4】開催時期、曜日、時間、方法などは適切であった。

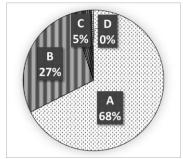
A:そう思う	68%	B:どちらかと言えばそう思う	27%
C:あまり思わない	5 %	D:思わない	0 %

<いただいたご意見>

6

0

- 平日というのは調整しにくいが、感染対策等を考えると仕方ないと思う。
- **5** 平日は休みが取りづらいので、土日に開催していただけたらありがたいです。
- ⑥ 保護者の観覧席がもう少し前だとよかったなと思いました。
- ⑦ プログラムにあった開始時間と出演クラスの表が見にくく、隣り合った違う クラスの開始時間と間違えやすいと思いました。



【寄せられたご意見について】 ※<mark>白抜き数字</mark>は上記くいただいた主なご意見>の中のものと対応しています。

- 聞き取りづらい部分があったことは承知しています。今回、マスク着用での発表を見越し、新たにマイクを6本購入し、設置しました。これ以上の増設はハウリングの可能性が高まるため、現状では最善の音響設備と考えています。
- マスクの着用有無については、各ご家庭の考えが分かれる部分であるため、難しい問題です。我々も、「マスクなしの学芸会」を行いたい思いは共通しています。しかし、名古屋市のガイドラインでは、合唱時のマスク着用が求められていること、また、区内の小中学校の感染状況等を考慮し、マスク着用の対応を取りました。
- **3** 授業を行っている児童が昇降口を使用したり職員室に来室したりする場合、保護者の方と動線が重なるため、出入口をトワイライト扉1か所にしました。しかし、出入口が非常に混雑した時間もありましたので、改善を目指します。
- 今回は、公平性と鑑賞のしやすさを優先し、保護者席を1家庭が前後に並ぶ形で、横に34脚×2列としました。今回以上に間隔を空けようとすると、1家庭の席を隣にし、縦に3列ないし4列設置する形となるため、鑑賞・撮影のしづらさが発生します。感染症の状況や、優先事項によって対応は変わりますので、今後も情勢を総合的に見て判断します。

土曜日開催が難しい理由については、11月7日付「学芸会アンケートについてのお願い」裏面を参照ください。「児童鑑賞と保護者鑑賞の日を分ければよいのではないか」というご意見もありましたが、分散開催である以上、これも現実的ではありません。演じる学級の同学年の担任には、全員体育館での役割があり、発表以外の学級の児童管理を誰かが行う必要があります。また、舞台以外の部分(体育館での児童誘導、次に発表する学級の控室管理等)にも人員が必要です。これらは担任をもたない専科等の教員が担当することが想定されますが、そうなると、その教員が受け持っている授業は、この期間は全く行えないことになります。そのような特別日程を、児童鑑賞と保護者鑑賞の2回、全学年分組むということは、非常に困難である等の理由で、保護者鑑賞と児童鑑賞を同時に行いました。また、「もっと近くでお子さんの顔が見たい」というお声もありました。この思いは、非常によく分かります。しかし、教育

活動である以上、優先順位は、「子どもの学び>保護者の見やすさ」であると判断します。児童鑑賞と保護者鑑賞を

より見やすいものになるよう、配慮してまいります。

<各学年の保護者の声(抜粋)>

同時に行わざるを得ない状況下において、保護者席を最後方となってしまったことについて、ご理解ください。

- [特支] 子どもが、いきいきと練習にのぞみ、本番を待ち望んでいました。緊張したけれど成功して満足していました。
- [1年] 本番当日、帰宅したときの自信に満ち溢れ、達成感を味わった表情が忘れられません。
- [2年] このアンケートを答えるにあたり、本人に聞いたところ、「むっちゃ楽しかった」と言っておりました。
- [3年] 完成度が高く、とても見応えがありました。全員が頑張って練習し、一生懸命演じているのが伝わり感動しました。
- [4年] 子どもたちが堂々と演技している姿と、最後のダンスにとても感動しました。胸が熱くなりました。
- [5年] とても良かったです。最後の合唱のところでは感動して泣きそうでした。
- [6年] 小学校生活の最後でとてもすばらしいステージを見せてもらいました。親バカですが我が子がとても輝いて見えました!

にり職姿り練をち本精、が員を、習喜を番一 ざ励の 常視認護程来ち伝 感っすとど あたのたる対いさ至表う習んでの でを 有皆 す読む りだ感 するつるの記しらての ことを重といるがらいます。といるのでは、 といるのです。といるがらいいです。といるがらいているがらいているがらいているのでは、 まずでは、 ま がき謝と、や つの護皆か家緒子にも その ごす 、 ₍ , ぬ 。教よ得月 う大労 のが とが教の守の長たずが ご変い 非な再保過出立が 実しでる子 理

つながり、より強固に